

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和5年9月1日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：吉野長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから9月1日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○吉野総務課長 報道官の吉野です。

広報日程について、まず御説明します。

9月5日ですけれども、第1182回新規制基準適合性に係る審査会合がございます。対応は杉山委員です。

議題は3つございますが、議題の1の関電の高浜発電所3号・4号炉の運転期間延長認可申請に係る審査については、この高浜発電所3・4号機は運転開始から38年が経過しておりまして、今年4月25日に運転期間延長認可の申請が出されております。6月1日にその概要を聴取する審査会合が開催されております。今回の9月5日の会合では、特別点検の結果など、具体的な内容について事業者からの説明が行われると聞いております。

議題の2の九電の川内原子力発電所1号炉及び2号炉の運転期間延長認可申請の審査でございますが、こちらは39年が運転開始から経過しておりまして、昨年10月に申請が出されているものでございます。前回7月18日までに通りの説明が事業者からなされていると聞いております。今回は7回目の審査となります。劣化事象の評価などについて、引き続き確認がなされると聞いております。

次に、同日の第23回新規制要件に係る事業者意見の聴取に係る会合でございます。対応は、古金谷緊急事態対策監となっております。

議題は、PWR（加圧水型原子炉）1次系におけるステンレス鋼配管粒界割れの知見拡充に関する2022年度の検討状況となっております。

本件は、令和2年8月に大飯発電所3号機の定期事業者検査中に、加圧器スプレイラインの溶接部の超音波探傷試験で配管内面の亀裂が見つかったということがありまして、結果として、それが応力腐食割れと推定されております。PWR1次系の応力腐食割れというのは珍しいということで、ATENA（原子力エネルギー協議会）と関電で原因の調査研究が進められてきております。

原子力規制庁ではこの検討内容を逐次把握しておりまして、技術情報検討会などで報告を受けてきております。令和4年度の進捗状況については、令和5年5月25日に概要の速報が技術情報検討会で報告されておりますが、新知見と思われるものがあることから、

この9月5日に、ATENAから亀裂発生メカニズムや健全性評価の検討状況について、詳しく聴取が行われるという予定でございます。

9月7日木曜日には、1183回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合が予定されております。対応は杉山委員と石渡委員で、石渡委員は議題3のみ御出席の予定でございます。

議題1は、日本原子力発電株式会社東海第二発電所の標準応答スペクトルの規制への取入れに係る設置変更許可の審査でございます。

東海第二発電所の標準応答スペクトルの取入れは、これまで地震動がおおむね妥当と評価をされ、地下構造モデルの考え方の確認などが行われてきております。今回は、プラントの耐震設計方針について審査が行われるという予定でございます。

議題の2は、東北電力女川原子力発電所2号機の所内常設直流電源設備の設置に係る設置変更許可の審査でございます。

本件については、7月4日に申請がなされておまして、今回が初回の審査会合となっております。

議題の3ですが、泊発電所3号炉について、地震動の審査がおおむね終わったということで、地震による損傷の防止についての対応が審査されます。本件は地震に関するものということで、石渡委員が参加の予定です。前回の審査は8月3日でした。

また、本日、ALPS（多核種除去設備）処理水の海洋放出のモニタリングでございますが、規制庁の採水については予定どおり午前中に終わっております。

以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問をお願いいたします。御質問のある方は手を挙げてください。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございました。

—了—